北条地区年表（概要）

ＮＰＯ法人 南房総文化財･戦跡保存活用フォーラム

西暦	和暦	北条地区のことがら	参考事項
1264	文永元	日蓮宗法性寺を日保、開山。	
1505	永正2	浄土宗金台寺を昌誉順道、開山。	
1508	永正5	里見義通、鶴谷八幡宮造営。	
1590	天正18	里見義康、金台寺へ寺領60石。天正年間、里見義康、法性寺へ境内地寄進。	
1614	慶長19	里見氏、改易。北条村、幕府代官中村弥右衛門吉繁の支配となる。	
1638	寛永15	屋代氏、北条に陣屋を設け、北条藩を立藩。 → 1711年、北条藩で万石騒動が起こる。	
1801	享和元	伊能忠敬、鏡ヶ浦の海岸を測量する。	
1811	文化8	松平定信、房総防備巡検のため北条村を通る。	1814年、曲亭馬琴、『南総里見八犬伝』を書き始める。
1868	明治元	北条村、長尾藩領となる。旧幕府海軍の榎本武揚が館山湾で兵力を整え、軍艦8隻で函館に向かう。幸田旅館に宿泊したといわれ、現在、自筆といわれる書が残っている。	
1869	明治2	長尾藩校日知館分校として、北条学校を開校する（現在の北条病院あたり）。	
1870	明治3	長尾藩庁を長尾（白浜）から北条（鶴ヶ谷）に移す。	
1873	明治6	千葉県となる。北条村（長尾藩庁跡）に千葉県支庁を設け、安房4郡を管する。	
1875	明治8	北条学校、金台寺に移転。→ 翌年、長尾藩庁舎跡に移転。	
1878	明治11	北条学校･八幡学校･高井学校が合併、北条尋常小学校となる。館山町辰野安五郎が安全社を設立、東京（霊巌島）-館山間の汽船事業開始。後、北条･館山･那古･船形に桟橋ができる。	
1880	明治13	県立千葉病院分院として、北条病院が開設される。	
1881	明治14	吉田謹爾、安房･平･朝夷･長狭4郡の郡長に任命される。（～1895） 自由民権演説会を北条尋常小学校で催す。	
1882	明治15	安房地域にコレラ流行する。	明治12年頃、コレラが全国的に大流行。死者10万人。
1883	明治16	木村屋旅館で自由民権の演説会開催。	
1886	明治19	坪野平太郎（南陽）、北条に英語学校を開く。→ 1914年、再来訪、英語学校を再開。	
1887	明治20	安房郡部医会設立、青柳道直指導で角田佳一起草委員（初代会頭渋谷玄道）。	医師秦呑舟、千倉大貫でキリスト教の伝道を始める。
1888	明治21	北条尋常小学校、六軒町（現在の中央公園）に移転する。村長高山芳兵衛と高山恒三郎が私有地の一部を提供した。社会教育団体「安房大道会」結成。鏡ヶ浦に海水浴客が増える。	
1889	明治22	北条村･新宿町･長須賀村･上野原村･湊村･八幡村･高井村･正木村の一部が合併し、北条町誕生。初代町長高山芳兵衛。吉田謹爾、金台寺墓地北側に、自宅建設。（～1914没）	秦呑舟、千倉大貫に安房第一大貫キリスト教会設立。
1890	明治23	万里小路通房、東京から北条町字新塩場に移住。	
1891	明治24	万里小路通房、貴族院議員となる（～1924）。 安房国農業会設立。初代会長吉田謹爾。	
1894	明治27	日本赤十字佐野常民社長より勧誘。安房郡部医会角田佳一･川名博夫･加藤淳造ら加入。	日清戦争はじまる。（～1895）
1895	明治28	万里小路が招いた近代農業技術の第一人者福羽逸人の指導で、安房の促成栽培が始まる。	
1896	明治29	吉田謹爾が北条町南町に安房銀行設立。（安房で最初の銀行、福原有信らが創立発起人）	
1897	明治30	安房･平･朝夷･長狭4郡が合併して安房郡となる。安房水産会設立。 笛木角太郎が北条を中心としてキリスト教の伝道をはじめ、北町に講義所を設立。	
1898	明治31	万里小路、本籍を北条町に移す。安房大道会の会長となる。 第一高等学校（現東京大学）水泳部が八幡海岸で水練をはじめる。	
1899	明治32	吉田謹爾、房総遠洋漁業株式会社（後の東海漁業株式会社）を創立。	
1900	明治33	安房実業銀行、北条町長須賀に創立。（→1918年、房州銀行と改称、本店を北条に移転）	
1901 1902	明治34 明治35	県立安房中学校（現安房高校）創立。 館山湾に4～500頭のクジラが回遊、捕獲。 キリスト教講義所を北町から新塩場に移転。	
1904	明治37	東京高等師範学校の水泳師範本田存（ｱﾘﾔ）、安房中生徒に水泳指導。以降30余年北条に住み、安房の水泳･柔道界に貢献（1949年没、金台寺墓所）。青木繁、館山･布良へ。	日露戦争はじまる。（～1905）
1905	明治38	私立安房女子裁縫伝習所（現安房西高校）創立。 医療伝道師コルバン夫妻、八幡海岸で療養生活をはじめ、同所に結核療養所を開設。	
1906	明治39	鏡ヶ浦で第1回関東連合遊泳大会開催。	
1907	明治40	長須賀に、安房郡立女子技芸学校（現安房南高校）創立。	
1908	明治41	キリスト教講義所を新塩場から六軒町に移転し、教会を組織。光田鹿太郎が、同所に東京育成園千葉県支部を開設。	
1909	明治42	吉田謹爾･正木貞蔵、里見氏墳墓の修理完工。北条町青年夜学会創設（会員27名）。	
1911 1912	明治44 大正元	鉄道院総裁後藤新平、鉄道敷設視察のため来房、木村屋旅館に泊まる。その際、町長加藤音城が国鉄北条線の開通と北条停車場設置を誘致した。六軒町に安房第二北条キリスト教会設立。 古川銀行北条支店、北条町仲町に開設。（→1921年、北条支店が本店となる）	
1913	大正2	万里小路通房、北条町長となる（7日間）。 私立北条文庫開設。	
1915	大正4	北条海岸に、吉田十郎が西洋料理店鏡軒を開業。	
1916	大正5	第九十八銀行北条支店、北条町南町に開設。 金台寺で1日3回梵鐘を鳴らし、時を知らせる。 北条町青年団創立。 東京育成園千葉県支部を千葉県育児園と改称し、独立。園長光田鹿太郎。	
1918	大正7	安房実業銀行は房州銀行と改称し、北条町仲町に本店を開設。 詩人山村暮鳥、結核療養のため、翌年まで北条町南町で静養。	
1919	大正8	国鉄北条線開通、安房北条駅開業。鏡軒を北条海岸より六軒町に移転、洋館を建設。	1921年、穂坂與明、渋沢栄一の侍医として渡米。
1922	大正11	郡立農業水産学校創立。翌年県立に移管、安房農学校と安房水産学校に分立。	
1923	大正12	11時58分、関東大震災。M7.9、北条町は全戸数1,616のうち全壊1,502、半壊47、被害率97%、死者230名、負傷者1,040名。北条小学校は、増築竣工式の2時間後に倒壊。孤児院光田院長、関西方面の演説会で救援依頼、震災復興に尽力。	関東全域で死者不明者は142,807名。
1924	大正13	キリスト教会堂を再建し、名称を聖アンデレ教会とした。三浦平之介師範を指導者に弓道倶楽部を結成、北条町字新塩場の辰野邸に弓道場を開設。	第1回明治神宮弓道大会開催。
1926	大正15	北条町立実科女学校（現館山高校）創立。 島崎藤村（55歳）、館山の療養中の恋人に会いに来房（海岸ホテル泊）	
1927	昭和2	日東交通開業。	
1929	昭和4	国鉄、房総環状線が開通し、房総西線と改称。	
1930	昭和5	安房高女（現安房南高校）を南町に移転。 宮城沖の干潟を埋め立て、館山海軍航空隊開隊。	
1933	昭和8	北条町･館山町が合併し、館山北条町となる。初代町長石崎常夫。	
1937	昭和12	辰野弓道場の芳名録に、中国渡洋爆撃の搭乗員高野重一（館空所属）の記名あり。	
1939	昭和14	館山北条町･那古町･船形町が合併し、館山市となる。初代市長石崎常夫。	
1941	昭和16	館山湾にクジラの大群、300頭余捕獲。	対米英戦勃発。館空より真珠湾攻撃へ出撃。
1943	昭和18	千葉合同銀行･第九十八銀行が合併、千葉銀行創立。池貝鉄工館山工場設立。	
1945	昭和20	終戦。9月3日林大使、川名正義を市民代表として木村屋旅館に呼び、カニンガム准将と面会。	外務省終戦連絡委員会を木村屋旅館に設置。
1946	昭和21	国鉄、安房北条駅を館山駅と改名。	
1947	昭和22	聖アンデレ教会で、賀川豊彦が講演会。社団法人館山市安房郡医師会発足。	
1948	昭和23	県内初の館山ユネスコ協力会設立。翌年、聖アンデレ教会内の一部をユネスコ協力会に貸与して、ユネスコ保育園を開園。（のち、聖アンデレ保育園となり、ユネスコ保育園は西の浜に移転）	
1949	昭和24	千倉出身のハリウッド俳優･早川雪洲が北条小学校で講演。館山高校、定時制設置。	
1951	昭和26	林芙美子、北条の木村屋旅館に投宿。『文芸春秋』3月号に「房州白浜海岸」を発表。	
1958	昭和33	南房総国定公園に指定される。	
1968	昭和43	銀座商店街の七夕まつり、幕を閉じる。	
1970	昭和45	北条小学校、現在地へ移転。跡地は1973年に中央公園となる。	
1979	昭和54	館山高校、現在地へ移転。跡地は市立第三中学校設立。	
1971	昭和46	東海汽船が館山航路を打ち切り。	

2006.8 愛沢伸雄 編